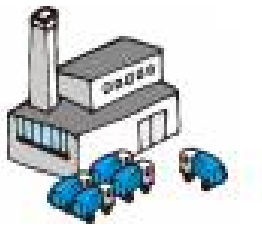
きょう子通信

2016年11月
No.41

常滑市議会議員　新風クラブ　井上　恭子

ご意見　〒479-0866　常滑市大野町６－５６(大野町きょう屋内)
ご相談は　TEL/FAX：４２－１３０７　E-mail：kyo-ya@infoseek.jp
フェイスブックでお友達になりませんか

豊洲市場問題は他人ごとではない！



～常滑で未だに行われない広域ごみ焼却場説明会～

2市3町（半田、常滑、武豊、美浜、南知多）で大型ごみ焼却場建設が計画され、平成19年に半田市クリーンセンターに決定された。その場所からダイオキシンが検出したため、武豊町に建設場所が変更になった事をご存じであろうか。最終処分場跡地に建物を建設するには、莫大なお金が必要になるという「最終処分場跡地形質変更ガイドライン」が平成16年に出されていたにもかかわらず、それを検討せず半田クリーンセンターに決定したのである。

犯人探しをするつもりはないが、処分場の開始が5年延期となったため、常滑だけでも10億円の損失額が計上されている。この問題を住民監査請求したが却下された。武豊にできる大型ごみ焼却場の土壌汚染について、処理方法はまだ知らされていない。何もなかったかの如く過ぎていくことに恐ろしさを感じる今日この頃である。

（この焼却場建設については、知多南部広域環境組合のホームページをご覧ください。）

９月議会　　きょう子の一般質問

ありえいへん契約！　　～企業の言うなりの契約を見直そう～

昨年12月議会で、すでに契約された15億円という情報システム事業や浄化センター管理運営費などの明細金額の提示を求めていた。一向に提出されないため情報公開制度で15億円の明細書の開示を求めた結果、企業から市側に対しての明細資料がないことが判明した。

民間企業では明細のない契約はありえないが、常滑市は「契約の内訳は企業秘密である」とし、「詳細請求はできない。」「今後の適正な入札実施のために内訳を開示しないことは当然」と言う。潤沢な財税状況ではない常滑市において、このような行政システムの変更をしていくよう要望を続けていきたい。

Ａ４一枚の15億円の明細書

常滑の資源　もっと活用しようよ！

常滑駅周辺の工事が長期にわたるため、いったいいつになったら駅の賑わいができるのかという市民の声から質問をした。60億円もの事業であるが、市長の施政方針は**賑わい＝りんくう町**という。市街地域の活性化の具体案は引き出すことができなかった。

国際展示場も建設予定である常滑市には、多くの資源が眠っている。ぜひそれを活用した町づくりを進めていってほしいものである。

シャッター通り

将来を見越した病院経営を

人口減少や少子高齢化が急速に進展する中で、医療需要が大きく変化することが見込まれており、病院の持続可能な経営が重要になってくる。病院経営に対する職員提案を募ったり、検診数を増やし経営努力をしたりして成果を上げているものの、将来を見越した経営改革プランはまだ見えてこない。来年3月には国の方針に従い提出するようだが、早急なる実践をするよう訴えていきたい。

あなたの税金の使い方は？

平成27年度決算認定される

歳入　915億8千万円　歳出　893億円（一般会計、特別会計、企業会計の総額）

9月議会は平成27年度決算特別委員会が4日間行われ、認定案11件いずれも認定された。

平成27年度決算は、平成22年に策定した「常滑市財政再生プラン2011」に基づき、職員人件費削減など様々な事業の抑制・見直しをしたり、貯金の積み立てを18億円確保したり努力を重ねてきた。それなりの成果は上がったものの、他市と比べれば財政状況は安定したとは言い難い数値である。

そこで下記にまずは皆さんから納められた一般会計の税金の使い方をお伝えする。

各年度とも、赤字は生じませんでした？

一般会計

214億5千万円（歳入）
－206億3千万円（歳出）

歳入の中に市債という借金が含まれている

行政はこれを借金ではないと言う。

8億2千万円（歳入歳出差額）－16億5千万円　市債）＝ **8億3千万円 赤字**

毎年市債（借金）を借りて歳入とするのを当たり前というが、それは右肩上がりの歳入がある時であり、常滑市は人口が増えても歳入は10年くらい変わっていない。人口減少で今後は下がる可能性が高いため、市債を減らしていく必要がある。

県内ワーストワンの健全化判断比率

夕張市破たん後、一般会計のみではなく特別会計などを含め、財政健全化を図るために国が定めた基準が４指標ある。下記の表にある一般財源に占める借金返済の割合の、「実質公債費比率」、財政規模に占める将来負担すべき負担額の割合を示す「将来負担比率」は県下最悪。

平成23年の206.7からすればとても努力したことは認めるが、3桁の指標は県内ではない。これからが本当の意味の行革が必要であろう。

県内のワースト10自治体

実質公債費比率		将来負担比率
常滑市（14.7%）	1	常滑市（107.3%）
設楽町（9.5%）	2	春日井市（60.4%）
豊根村（8.9%）	3	一宮市（47.1%）
田原市（7.7%）	4	弥富市（45.6%）
幸田町（7.3%）	5	岩倉市（42.0%）
大治町（7.0%）	6	津島市（40.2%）
豊橋市（6.6%）	7	豊橋市（40.1%）
弥富市（6.6%）	8	東海市（33.9%）
春日井市（6.3%）	9	武豊町（33.3%）
あま市（6.3%）	10	知多市（33.2%）
⋮	⋮	⋮

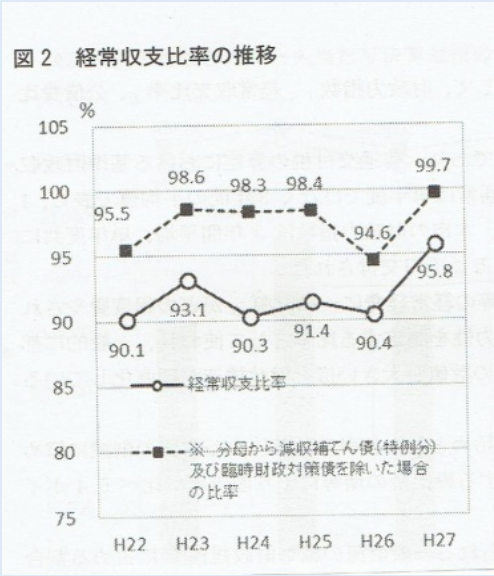
全国平均7.4%

全国平均38.9%

10月5日付け　中日新聞県内版

自由に使えるお金は たった6千万円

平成27年度、一般会計においての経常収支比率は95.8%。6千万円しか自由に使えるお金がないため、借金返済のための借金をしなければならず、またしても市債（借金）が増えている。（75%が妥当であるが、借金しなければ99.7%）



職員の人材育成と市民力の活用を！

人口　2016年　58,454人➡　2040年　48,629人

「常滑市行財政再生プラン2011」では市民運動会、敬老会の廃止、公民館など使用料の支払い、職員にとっては給与と職員削減で大変な痛みが生じるほど行われたことは事実である。しかし左記の財政状況からみて、とても安心できる状況でないことは皆様お分かりになるであろう。

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると常滑市の老年人口（65歳以上）の比率は現在の25.2%から2050年には47.4%になる一方、支え手となる生産年齢人口（15歳～64歳）は現在の59.9%から同年には56.9%に減少する。つまり税収の減少が始まり、社会保障が膨らみ、インフラ更新、下水道工事などに莫大な費用が生じて、この5年間の行革より、今後の10年間が常滑市にとって本当の行革になるのではと思う。

今後、次世代の子どもたちにツケを残さないためには、収入策として、病院や公民館の駐車代の徴収、指定管理条件の見直し、補助金のゼロベース化、空き家の有効利用、土地利用などを具体的に上げて迅速な対処をすべきであろう。大府市では職員人材育成のために委託は禁止されている。何といっても人が事をなすことであり、人材育成として教育に力を入れること、市民力の活用をしていく施策を早急にしていくことを要望していきたい。

9月議会補正予算

補正後

- **鬼崎南保育園を民営化し認定子ども園整備事業費** 減額　2777万円
  「社会知多福祉法人知多学園」のスケジュールを踏まえ、平成28年度の事業実施分の削減と県の補助基準額の変更、補助率に伴う整理をする。
- **10月からＢ型肝炎予防接種が定期接種として追加されたため** 増額　1億6997万円
  生後2か月から8か月の乳児への接種であるため、健康に留意して接種を。
- **瀬木保育園等への進入道路拡幅を実施のため** 増額　1340万円
  常滑東小学校、とこなめ陶の森への進入路でもあり、用地確保ができたため実施が可能になった。

その他、下水道事業、国民健康保険、常滑駅前、モーターボートなどの補正あり。

請願と意見書、2本とも不採択

子ども医療費は中学校まで無料化を望む

愛知県下の自治体の80%で、中学校までの医療費無料化が広がっている。子育て支援は重要施策のため中学校まで全額助成することを議会に請願したが反対が多く、不採択になり残念である。

地方議会議員選挙期間中のビラ配布を

選挙期間中に書面で政策をより詳細に訴える手段がなく、有権者が候補者の選択をすることが難しい。有権者に政策を届けるためにも地方議会選挙にビラ配布の意見書を提出したが、国会で審議中であるため不必要という理由で不採択であった。

賛 成　井上（新風クラブ）、西本（日本共産党）

反 対　川原、成田、盛田、伊藤，冨本、杉江、都築（創造未来）
加藤久、稲葉、森下、伊奈、中村（翔政会）
加藤よ（公明党）　　【相羽議員は議長のため採択に関わらず。　敬称略】

学校でもっと憲法を勉強する時間を

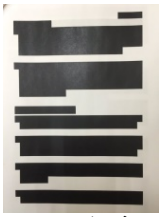
「**不思議なクニの憲法**」の上映会が行われ、若い年齢層の方の参加も多数あり会場は満席で、アンケートにも非常に多くの意見を頂き、安易な憲法改正に危惧を抱いている現状を再認識できた。

9月25日、常滑市中央公民館にて

＜参加者アンケートよりコメント紹介（一部）＞

・改めて日本国憲法は大切なものであると再認識しました。
・一人一人の意識が、行動が、政治・憲法を変えていく。
　憲法九条は　国民が守っていかなければならないと思います。
・主権者である国民の自覚が問われている。
・学校でもっと憲法を勉強する時間を設けるべきだと強く感じました。
・現在の日本の平和が「現憲法のおかげで達成されているという集団」と、「日米安保で達成されているという集団」があり、その立場があまりにも違っていて両集団で真面目な議論が全くなされていないのが残念だ。

黒 塗 り 状 態 の 書 類



6月に常滑市浄化センター・空港島汚水中継ポンプ場維持管理包括業務委託を公開制度で書類を請求したが、こちらの知りたい部分はほとんどが黒塗りであった。契約後においても企業秘密であるため見せられないという。ニセコ町で言うと情報は市民のものであるし、私たちの税金である。この違いは何であろうか。

Ｃａｆｅ ｄｅ 情報交換

かえるの会

議 案 を 見 て み よ う ！

12月3日（土）　10時～大野町きょう屋
19時～ 中央公民館

紙面だけではお伝えできない問題を詳しくお伝えします。皆さんのご意見・要望もお聞かせください。

ニ セ コ 目 指 し て Ｇ Ｏ ！

10月19日から21日まで北海道へまちづくりや貧困対策などの施設に研修に行った。
ニセコ町での自治基本条例では、20年前、町にある情報は住民のものとして、全ての情報を町民と共有するシステムを作り上げる。お金をかけずに住民主体の施策行ってきたニセコ町の事例を、常滑市も取り入れるべきだと感じた研修であった

「もっと知りたいことしの仕事」としてわかりやすい予算書を全町民に配布。片山ニセコ町長と

職員机の上の引き出しは席を立つとき書類をしまうために空っぽ。帰宅時机上に書類なし

月一職員が講師になって、町民に町の現状や課題をお知らせし、そこで町民と議論する。

住民から要求のあった文書を30秒で取り出せるシステムの構築をする。

12月議会　12月9日（金）～22日（木）
一般質問　12月12日（月）・13日（火）
傍聴にお越しください

駅頭報告　午前６時30分～7時30分
11月16日（水）大野町駅
17日（木）榎戸駅
18日（金）常滑駅

YouTube　一般質問を動画でどうぞ　常滑市役所ＨＰ→市議会→本会議録画映像